

様式 1

県立太田西山高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

<p>1 人間力を高め、将来の夢を実現する学校</p> <p>2 知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人格の完成を目指す学校</p> <p>3 自ら学び続ける力の育成を目指す学校</p> <p>4 地域に愛され、信頼される学校</p>
--

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>(1) 地域の実情や課題についてデータ等に基づいて知識を深める。</p> <p>(2) 課題の背景や将来の影響等について適切に把握し、解決策を考える力を身に付ける。</p> <p>(3) 日常生活を送る上で、課題を適切に把握し課題を解決する能力やコミュニケーション能力を活用し、協働して取り組む力を身に付ける。</p>	<p>(1) ワークシートやふり返りシート、講義の後の感想文等での学習過程における取組状況から関心や意欲、知識や理解について評価する。</p> <p>(2) 課題への取り組み、グループでの話し合いの様子から意欲や態度、判断力を評価する。</p> <p>(3) レポートの作成や発表で、思考力・表現力や学びに向かう姿勢を評価する。</p>	<p>(1) どんな支援が必要であるか生徒理解に努めると同時に、妥当性のある指導を十分に見極め、学年や学校全体で柔軟な教育措置を行っていく。</p> <p>(2) 自己肯定感を高め、主体性を身につけさせることで、配慮を必要とする生徒が阻害されない環境作りに努める。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ライフスキルⅡ・Ⅲ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>課題：茨城の魅力を探る</p> <p>(1) とともに歩む「茨城の魅力」を活用して、伝統や文化について理解する。</p> <p>(2) 地域の伝統や文化について調べ、それを継承していくための問題点について調べる。</p> <p>(3) グループごとに地域の魅力をまとめ、それらを継承していくためにはどうしたら良いかを考え、意見の集約をする。</p> <p>(4) 各グループで発表用原稿や資料(スライド)の作成をする。</p> <p>(5) 各グループによる資料(スライド)を使用した発表をする。</p> <p>課題：少子化について考える</p> <p>(1) 少子化の意味を理解し、その弊害にどのようなことがあるか調べる。</p> <p>(2) 地域の少子化による影響で起こり得ることを考察する。</p> <p>(3) 地域の少子化の現状や少子化の進展を各種データに基づいて調べ</p>	<p>(1) 地域の大学生による資料作成やプレゼンテーションに関する講習を生徒が受ける。</p> <p>(2) 地元の地方公共団体担当者から少子化の現状と背景についての講話を生徒が聴く。</p> <p>(3) 近隣の保育所で保育体験活動を実施し、生徒が子どもとふれあう。</p>	<p>(1) 自分の在り方や生き方を考え、自ら進路を実現していく生徒。</p> <p>(2) 物事や課題を主体的に発見し考え、コミュニケーション能力を生かし、他者と認め合いながら協働して課題を解決できる生徒。</p> <p>(3) 持続的に地域社会を支え、地域社会に貢献できる生徒。</p>

様式 1

	<p>(4) 地域の少子化の影響や少子化の背景を調べる。</p> <p>(5) グループとして少子化の現状や少子化の進展を各種データに基づいて取りまとめる。</p> <p>(6) グループとしての少子化を解決するための持続可能な方法を話し合い、グループとしての意見を取りまとめる。</p> <p>(7) 地域の少子化の現状と影響を踏まえ、持続可能な解決策のレポートを作成する。</p>		
<p>2年 (ライフスキルⅡ)</p>	<p>探究課題：ライフスキル研究 「構成的エンカウンター」</p> <p>(1) 集団学習体験を通して、行動の変容と人間的な自己成長をはかる。</p> <p>(2) グループに分かれ、友人から見た自己を知る。</p> <p>(3) 自分のもっている自己イメージとの違いを知る。</p> <p>「学級の基本ルールづくり」</p> <p>(1) 安全で、思いやりがあり認め合うホームルームはどのようなホームルームか考える。</p> <p>(2) 「励ます・ほめる言葉や行動」「傷つける・けなす言葉や行動」を考える。</p> <p>(3) 「居心地の良いホームルーム」をつくるために必要な「ホームルームのルール」を3つ挙げ優先順位をつける。</p> <p>(4) 全グループの発表をもとにクラスのルールを決定する。</p> <p>(5) 「ホームルームの基本ルール」をつくる理由を考え、どのようなときに役立つかまとめる。</p> <p>「谷間から頂上へ」</p> <p>(1) 困難と思われる状況にであったときどうするか考える 考え方ー行動ー感情のつながりを表現する。</p> <p>(2) 頂上と谷間の概念を理解する。</p> <p>(3) 感情をコントロールするポイントは、感情を言語化し、受け入れ前向きな考えと行動をできるだけ沢山取ることであることを理解する</p>	<p>(1) 授業の実施方法について、ライオンズクエスト認定講師による指導を教員が継続的に受ける。</p>	<p>(1) 自分の在り方や生き方を考え、自ら進路を実現していく生徒。</p> <p>(2) 物事や課題を主体的に発見し考え、コミュニケーション能力を生かし、他者と認め合いながら協働して課題を解決できる生徒。</p> <p>(3) 持続的に地域社会を支え、地域社会に貢献できる生徒。</p>

様式 1

	<p>「地産地消」</p> <p>(1) 茨城の生産物を調べる。  (2) 地産地消が地元にとどのような影響を与えるか考える。  (3) 地産地消を通して茨城県をはじめとする地域の魅力を理解し、郷土愛を深める。</p> <p>「問題解決の方法」</p> <p>(1) 人と親しくなる上で、争いごとが起きることを理解する。  (2) 友人との間に、議論や争いごとが起きる状況を考える。  (3) 問題解決スキル「か・い・け・つ」を理解し、2人1組で練習し、6人1グループで解決策を発表し合う。  (4) できるだけ多くの解決策を考えることが、問題解決に役立つことを理解する。</p> <p>「賞賛の気持ちを表現する」</p> <p>(1) 「聞くこと」は「与える」ことのひとつで、他の人に敬意をもって接することが、自分や他に人を大切にし、認め合うことを認識する。  (2) グループで自分や他の人を大切にする重要性について話し合う。  (3) 賞賛の気持ちを表す方法を考える。  (4) 賞賛の気持ちを表す方法を身に付ける。</p> <p>「感情を決定して意思決定する」</p> <p>(1) 葛藤に対処する上で役立つことは何か考える。  (2) ライフスキル I で学んだ強い感情のコントロールに関連したスキルと情報を復習する。  (3) グループで感情のコントロールを意思決定に適用する方法を話し合う。  (4) グループで状況と意思決定を話し合い発表する。  (5) 強い感情が芽生えテイル状況で、適切な意思決定をする方法を学ぶ。</p> <p>「表現力とコミュニケーション力を高める」</p> <p>(1) 2人1組で棒を使った実技、</p>	<p>(2) 地元の食品加工業者の担当者による、地産地消を実現するポイントについての講話を生徒が聴く。</p>	
--	--	---	--

様式 1

	<p>2人1組での目隠した行動、リズムで表現する。</p> <p>(2) 他の人とのコミュニケーションの取り方を考える。</p> <p>(3) 他の人との距離感や相手の気持ちを考え行動する能力を高める。</p> <p>「ビジネスマナー」</p> <p>(1) マナーの必要性を学ぶ。</p> <p>(2) 他の人と接する上で必要なマナーを理解する。</p> <p>(3) 他の人と接する上で必要とされるマナーを身に付ける。</p> <p>(4) マナーを身に付けコミュニケーション能力を高める。</p> <p>「ASK」</p> <p>(1) 好ましくない活動を要求された経験を考える。</p> <p>(2) グループで「外的圧力」の一種である仲間からの圧力についてどのような圧力があるか考える。</p> <p>(3) A(質問する)→S(好ましくない)→K(好ましい選択があることを知る)を理解する。</p> <p>(4) グループごとにASKのロールプレイを行い、クラス全員で各グループのロールプレイが適切だったか話し合う。</p> <p>(5) 好ましくない活動には「ノー」と言うための3ステップを学ぶ。</p> <p>「威圧的な行動に対応する」</p> <p>(1) 「志」とは何か、どのような言動が他者の志を挫かせるか、また、他者の志を応援するか考える。</p> <p>(2) グループで威圧やいじめ(言語的いじめ、非言語的いじめ、身体的いじめ)はどのようなことか確認する。</p> <p>(3) グループで「脅している人」「脅されている人」「見ている人」の感情を確認し、グループごとに発表する。</p> <p>(4) グループで威圧的な状況に対応する方法話し合う。</p> <p>(5) 脅しやいじめに対抗するポスターをつくる。</p> <p>「小論文研究」</p>		
--	---	--	--

様式 1

	<p>(1) 自己について文章で表現する。  (2) 文章のルールや構成方法を学ぶ。  (3) 表現したい内容を考え構成する。  (4) 実際に自己について文章を書く。</p> <p>「小論文と進路」  (1) 進路に応じた課題を設定する。  (2) 文章化する材料を収集する。  (3) 文章の構成を考える。  (4) 各自の設定した課題の文章を書く。</p> <p>「将来への展望」  (1) OPPORTUNITY IS NOWHERE は2つの意味がとれるがなぜか考える。  (2) ライフスキル I で学んだ「本当の自信の三本脚の椅子」と関連させて、「目的」と「目標」の違いや意味を考える。  (3) 短期目標と長期目標の違いを明確化する。  (4) 短期目標と長期目標を明確にし、それぞれの目的を明確化する。  (5) 目標の「人生の道のり」を作成する。</p>		
<p>3年  (ライフスキル III)</p>	<p>探究課題：ライフスキル研究  「展望」  (1) これからの自分の目標設定について学習する。  (2) 目標達成には健全な方法で達成することの重要性を理解させる。</p> <p>「目標達成に向かえ」  (1) 自己の進路を展望し、行動の変容と人間的な自己成長をはかる。  (2) 自分の進路決定理由をあらためて客観的に確認する。  (3) 志望理由を論理的な思考で文章構成する。</p> <p>「今後 20 年間の私」  (1) 今後の人生で困難に遭遇したときどうするか考える。  (2) 考え方ー行動ー感情のつながりを表現する。  (3) 思い通りに行かない場合の現</p>	<p>(1) 授業の実施方法について、ライオンズクエスト認定講師による指導を教員が継続的に受ける。</p>	<p>(1) 自分の在り方や生き方を考え、自ら進路を実現していく生徒。  (2) 物事や課題を主体的に発見し考え、コミュニケーション能力を生かし、他者と認め合いながら協働して課題を解決できる生徒。  (3) 持続的に地域社会を支え、地域社会に貢献できる生徒。</p>

	<p>実を理解する。          (4) 自分を精神的に立て直す場面          を想像する。</p> <p>「問題解決の方法」          (1) 何事かを為すときに、トラブ          ルが起り得ることを理解する。          (2) 相手との間に、議論や行き違          いが起きる状況を考える。          (3) 問題解決スキルを理解し、ペ          アやグループで解決策を発表し合う          できるだけ多くの解決策を考えるこ          とが、問題解決に役立つことを理解          する。</p> <p>「家族の絆の強化」          (1) 家族のニーズや様々な家族の          あり方について学習する。          (2) 多くの家族が直面する問題と          考えられる解決策を話し合う。</p> <p>「責任感を持つ」          (1) 責任感のコントロールを意思          決定に適用する方法を話し合う。          (2) 責任感について話し合った内          容をグループごとに発表する。          (3) 責任感が適切な意思決定を導          く方法を学ぶ。</p> <p>「自己表現力を高める」          (1) 時事問題などで説得力のある          理由による賛成と反対を考える。          (2) 自分と他人の考えの隔たりや          多面的な捉え方を理解する。          (3) 自分と他人の意見の相違点と          類似点を考察して歩み寄る。</p> <p>「考えを実行する」          (1) 構想しているだけで実行でき          なかった経験を考える。          (2) 考えを行動に移すための強い          意志を確認する。          (3) 考えを実行して結果を受け入          れる生き方を理解する。</p> <p>「ストレスに対処する」          (1) ストレスを貯めない与えない          ことの重要性を学ぶ。          (2) ストレスコントロールの方法          や工夫を理解する。</p>		
--	---	--	--

様式 1

	<p>「自己を啓発する」</p> <p>(1) 自己啓発とは何か、どのような言動が人を健全に応援し向上させるかを考える。</p> <p>(2) 自分の成長のためには、日常的に何をすれば啓発を具現化できるか確認し理解する。</p> <p>(3) ペアやグループで、自分と他人の考えを対照し尊重し参考にし合う。</p> <p>「社会と自分を考える」</p> <p>(1) 社会と自分の接点について文章で表現する。</p> <p>(2) 社会人としての文章のルールや構成方法を学ぶ。</p> <p>(3) 社会人として表現したい内容を考え構成する。</p> <p>「ビジネスマナー」</p> <p>(1) マナーの必要性を学ぶ。</p> <p>(2) 他の人と接する上で必要とされるマナーを身につける。</p> <p>(3) マナーを身につけ、コミュニケーション能力を高める。</p>	<p>(2) 紳士服販売業者の担当者による、社会人としての身嗜みやマナーについての講話を生徒が聞く。</p>	
--	---	--	--